

保健福祉文教委員会

送付 16 - 4

シベリア抑留問題解決のための立法を求める意見書提出に
関する陳情

受付年月日 平成 16 年 8 月 18 日

陳 情 者 千代田区九段南 2 - 2 - 7 - 601

(住所：千代田区九段北 4 - 1 - 31 - 401)

千代田・人権ネットワーク

有 光 健

陳 情 書

(陳情趣旨)

第二次大戦が終わってからソビエトおよびモンゴルに60万人を超える多数の元日本軍捕虜が強制的に抑留され、厳しい寒さの中での奴隷労働を強いられてから59年がたちます。そのために6万人を超える元捕虜・民間抑留者が栄養失調と病気で亡くなり、無事帰国できた元抑留者らも苦難に満ちた戦後を送ってこられました。

これらの元抑留者には、抑留中の賃金も支払われず、恩給欠格者に一人10万円と銀杯・総理大臣の感謝状が平和祈念事業特別基金から贈られたのみです。平均年齢80歳を超える元抑留者らは、いま人生最後の時を迎え、改めて、当時の強制抑留・強制労働の意味を問い直し、長きにわたって放置されたままのシベリア抑留問題に対する政治の不作為を訴え、早期の解決を求めています。

ようやく今年になって、与野党にこの問題の立法解決の動きが見られますが、当事者らが高齢に達していることから、「戦後60年」・日口平和条約締結を前に、一刻も早い解決が望まれます。

北朝鮮拉致事件が多くの国民の関心と同情を集めている一方で、59年前に日本民族が体験した史上最大規模の組織的な拉致・強制抑留事件が、いまだに被害当事者らが納得できる解決をみていないことはまことに遺憾です。

千代田区においては、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に1万柱を超える旧ソ連・モンゴルからの遺骨をお預かりし、昨年からはスターリンがシベリア抑留を指令した8月23日には同墓苑で「シベリア抑留犠牲者追悼の集い」も関係者らによってしめやかに行われており、この問題に無関心ではおられません。

すでに、東京都中野区議会、北海道苫小牧市議会、同名寄市議会、帯広市議会、大分県湯布院町議会などがこの問題の早期立法解決を求める意見書を国と国会に提出しています。

私どもは、千代田区議会が高齢の元抑留者らの訴えを真摯に受けとめ、日本政府と国会に対して、シベリア抑留問題解決のための立法にすみやかに取り組むよう求める意見書を提出いただくことを陳情します。

平成16年8月18日

千代田区議会議長 殿